

平成24年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成24年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成24年度の病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

(以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

ア 平成 24 年度決算と新たな中期経営計画に基づく病院の運営等について

平成 24 年度の病院事業会計の収益的収支は、2 億 1,643 万円の赤字（純損失）であるものの、前年度に比べ 27 億 3,057 万円収支が改善しています。これは、平成 23 年度は総合医療センターの独立行政法人化に伴う一過性の要因（資本剰余金の病院間貸借の解消に伴う特別損失 27 億 9,261 万円）があったことによるものです。

平成 24 年度末の正味運転資本（内部留保資金）は、前年度（総合医療センターの 27 億 1,918 万円を除くと 7 億 7,019 万円）より 3 億 3,073 万円増加し、11 億 92 万円（流動資産 14 億 9,361 万円から流動負債 3 億 9,268 万円を差引いた額。流動資産のうち現金預金は 9 億 7,357 万円）となっています。

病院事業庁では、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進するため「三重県病院事業 中期経営計画（平成 25 年度～平成 27 年度）」を新たに策定したところであり、各年度における成果目標等の進行管理を的確に行うことにより、計画の着実な推進を図っていただきたい。

また、病院事業全体では、多額の累積欠損金が生じているなど厳しい状況が続いています。このため、県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、国、県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、引き続き経営の健全化を図っていただきたい。

なお、平成 24 年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりです。

収益的収支の状況

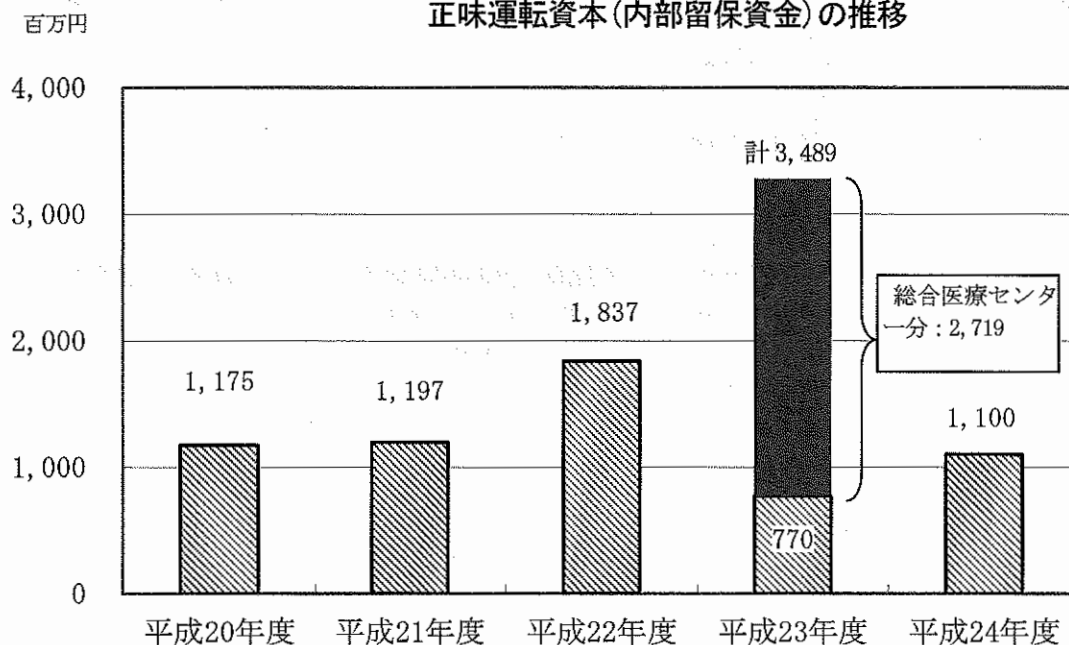
(単位：円)

病院名	区分	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増減 (A) - (B)
総合医療センター	総収支	0	2,007,646,494	△ 2,007,646,494
	経常収支	0	△ 118,469,662	118,469,662
こころの医療センター	総収支	21,452,061	△ 2,529,064,422	2,550,516,483
	経常収支	125,731,061	261,027,807	△ 135,296,746
志病院	総収支	△ 87,835,418	△ 95,776,002	7,940,584
	経常収支	△ 74,439,418	24,416,716	△ 98,856,134
志摩病院	総収支	△ 150,054,109	△ 2,329,815,027	2,179,760,918
	経常収支	△ 150,054,109	△ 1,224,734,949	1,074,680,840
計	総収支	△ 216,437,466	△ 2,947,008,957	2,730,571,491
	経常収支	△ 98,762,466	△ 1,057,760,088	958,997,622

(注) 1 経常収支は、総収支から特別利益・特別損失を除いたもの。

2 総合医療センターについては平成24年4月から地方独立行政法人化し、健康福祉部の所管となった。

正味運転資本(内部留保資金)の推移



(注) 正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(未収金等)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(未払金等)を差し引いたもの。

(1) こころの医療センター

総収支は約 2,145 万円の黒字であり、前年度に比べ 25 億 5,051 万円、収支が改善しています。

これは、資本剰余金の病院間貸借解消という一過性の要因が消滅したことにより、特別損失が前年度に比べ 26 億 8,581 万円減少したことによるものです。

なお、経常収支は、約 1 億 2,573 万円の黒字を確保しているものの、入院収益の減等により、前年度に比べ 1 億 3,529 万円収支が悪化しています。

病院機能の再編・推進を継続し、訪問看護などのアウトリーチサービスや、作業療法、デイケアといった日中活動支援を進めることで、地域生活支援体制を充実させていただきたい。また、救急・急性期医療を推進し、民間病院では対応が困難な患者の受入れなど、精神科医療の中核病院として求められる役割や機能の充実を図っていただきたい。

※ アウトリーチ（サービス）＝医師、看護師、精神保健福祉士など医療・福祉関係者が患者のもとに直接出向いて心理的なケアや必要とされる支援を行うこと。

(2) 一志病院

総収支は8,783万円の赤字であるものの、前年度に比べ794万円、収支が改善しています。

これは、資本剰余金の病院間貸借解消という一過性の要因が消滅したことにより、特別損失が前年度に比べ1億679万円減少したことによるものです。

なお、経常収支は、7,443万円の赤字となり、入院及び外来収益の減等により、前年度に比べ9,885万円収支が悪化しています。

地域の過疎化・高齢化が進む中、引き続き家庭医療を中心とした地域医療や予防医療、在宅療養支援に取り組むとともに、三重大学と連携し、家庭医（総合診療医）の育成拠点として医師の育成を図るなど、地域医療を担う人材の育成に努めていただきたい。

また、これからの地域医療には、保健、医療、福祉を包括した取組が必要であり、その体制の整備が求められていることから、全人的な医療に精通した家庭医が中心となり、関係機関や住民とともに、地域に最適な医療の体制づくりに取り組んでいただきたい。

※ 家庭医（総合診療医）＝患者の年齢、性別、疾患などに関わらず、地域住民の健康を支える医師のこと。患者や家族と密接な連携を保つことで、予防、治療、リハビリテーションなどを行う。

(3) 志摩病院

平成 24 年度から指定管理者制度を導入していることから、平成 24 年度三重県病院事業会計には、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれないこととなりました。その結果、総収支は、赤字額が前年度の 23 億 2,981 万円から 1 億 5,005 万円に大幅に縮小しています。

なお、決算における前年度との比較については、運営主体が異なるとともに執行科目等が相違するため、正確に比較することは難しいですが、参考に県の損益計算書と指定管理者から提出された事業報告書との合計額を前年度と比較しますと、経常収支が大幅に改善しています。

指定管理者にあつては、入院機能、小児医療及び救急医療などの診療機能の段階的な回復に努め、常勤医師の確保など、より一層の診療体制の充実を図っているところであります。病院事業庁においては、今後とも地域の中核病院としての役割・機能を担えるよう、基本協定や業務報告等に基づきその運営状況を適時・的確に把握しながら、指定管理者と十分に協力・連携することにより、地域医療の確保・推進に努めていただきたいと思います。

【参考】 志摩病院決算額 (対前年度比較：主な項目のみ) (単位：百万円)

主な項目	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増減 (A) - (B)	増減理由	
収入	入院収益	1,923	1,712	211	・平均在院日数の短縮に伴う入院診療単価の増 (H23: 22,976円→H24: 25,455円) ・入院延患者数の増 (H23: 74,504人→H24: 75,535人)
	外来収益	794	822	△ 29	・整形外科医師の減に伴う外来患者数の減 (H23: 74,024人→H24: 69,530人)
	負担金等	613	736	△ 123	・共済組合追加費用の負担に要する経費の減 △108百万円
支出	給与費	2,110	2,390	△ 280	・退職給与金の減 △136百万円 ・法定福利費の減 △170百万円 ・看護師給の減 △157百万円 ・医師給の増 217百万円
	経費	913	1,163	△ 249	・非常勤医師に係る報償費の減 (H24は 医師給での支払) △179百万円 ・修繕費の減 △90百万円
経常収支	△ 715	△ 1,224	509		
特別利益	0	516	△ 516	・指定管理者制度移行に伴う退職手当の繰入等	
特別損失	0	1,621	△ 1,621	・指定管理者制度移行に伴う退職手当	
総収支	△ 715	△ 2,329	1,614		

(注) 1 平成24年度の決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値)である。なお、県と指定管理者とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除いている。

2 平成24年度決算額では、県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金(541百万円)は含めずに比較している。

3 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

イ 未収金の回収と発生防止について

平成24年度末における病院事業庁全体（平成24年度から地方独立行政法人化した総合医療センター分を除く）の診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）は、4,384万円となっています。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成24年度中に1,064万円を回収（会計上の減額処理684万円と合わせ過年度未収金は1,749万円減少）しているところではありますが、引き続き回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成24年度においては、1,138万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

（単位：千円）

病 院 名	平成24年度末 (A)		平成23年度末 (B)		増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	172	26,890	133	31,544	39	△ 4,654
一 志 病 院	12	421	9	446	3	△ 25
志 摩 病 院	136	16,538	123	17,970	13	△ 1,431
合 計	320	43,849	265	49,960	55	△ 6,110

(注) 1 志摩病院に関しては、指定管理者による運営に移行する前の分（平成24年3月31日までに発生した分）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

（単位：千円）

病 院 名	新規発生	回収	会計上の減額処理	計
こころの医療センター	5,903	△ 6,708	△ 3,849	△ 4,654
一 志 病 院	204	△ 229	0	△ 25
志 摩 病 院	5,274	△ 3,710	△ 2,995	△ 1,431
合 計	11,381	△ 10,647	△ 6,844	△ 6,110

第3 経営の概要

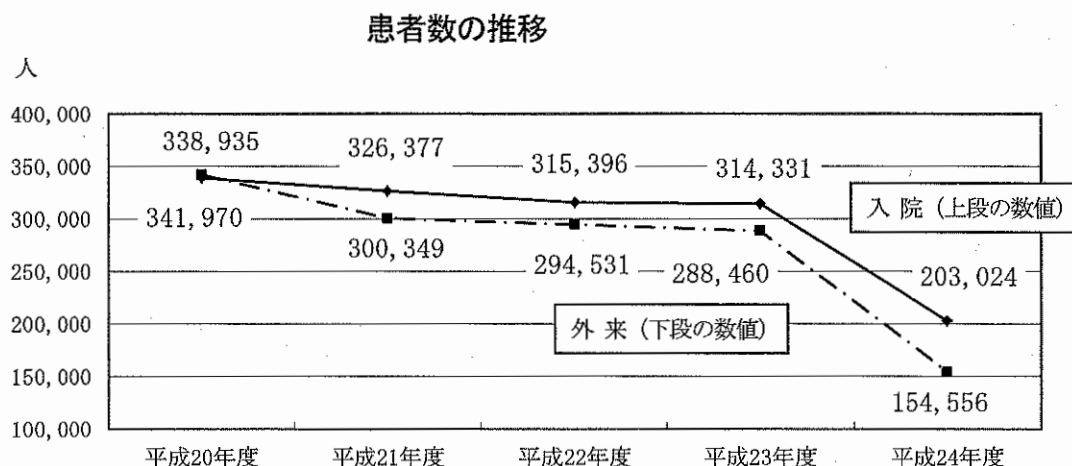
1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきましたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入しています。

3病院の許可病床数は、平成24年度末時点で計836床ですが、一般病床のうち志摩病院では、118床が一時休床となっています。また、一志病院では療養病床44床が平成19年度から一時休床となっており、家庭医（総合診療医）の育成拠点としての整備を行うにあたって、平成24年4月から病床数を44床から40床に改めました。

なお、こころの医療センターでは、病院機能再編の取組の一環として、平成25年1月から52床を休床としています。

患者数の状況としましては、平成24年度の入院患者数は延べ203,024人（1日平均556人）で、前年度に比べ111,307人減少し、外来患者数は延べ154,556人（1日平均631人）で、前年度に比べ133,904人減少しています。患者数が大幅に減少した理由は、総合医療センターが独立行政法人化したことによるものです。



2 経営成績

平成24年度の総収益は57億440万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が28億8,047万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が28億2,393万円となっています。

総費用は59億2,084万円であり、内訳は給与費、材料費等の医業費用が55億979万円、企業債支払利息等の医業外費用が2億9,337万円、退職給与引当金にかかる特別損失が1億1,767万円となっています。

なお、総合医療センターが平成24年度から独立行政法人化したことにより、収益は155億543万円、費用は182億3,600万円、それぞれ前年度に比べ減少しています。

この結果、純損益は2億1,643万円の赤字となり、前年度に比べ27億3,057万円、純損失が減少しています。

また、純損益から特別利益及び特別損失を除いた経常損益は、9,876万円の赤字となっています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成24年度(A)	平成23年度(B)	増減(A) - (B)
総 収 益	5,704,409,338	21,209,844,775	△ 15,505,435,437
医 業 収 益	2,880,471,416	13,919,715,081	△ 11,039,243,665
医 業 外 収 益	2,823,937,922	4,113,825,747	△ 1,289,887,825
特 別 利 益	0	3,176,303,947	△ 3,176,303,947
総 費 用	5,920,846,804	24,156,853,732	△ 18,236,006,928
医 業 費 用	5,509,797,360	18,018,309,115	△ 12,508,511,755
医 業 外 費 用	293,374,444	1,072,991,801	△ 779,617,357
特 別 損 失	117,675,000	5,065,552,816	△ 4,947,877,816
経 常 損 益	△ 98,762,466	△ 1,057,760,088	958,997,622
純 損 益	△ 216,437,466	△ 2,947,008,957	2,730,571,491

3 一般会計繰入金の状況

平成24年度の収益的収入の繰入金は、25億2,815万円であり、前年度に比べ13億8,768万円減少しています。資本的収入の繰入金は、7億5,165万円であり、前年度に比べ2億3,393万円減少しています。それぞれ、減少した主な理由は、総合医療センターが平成24年度から独立行政法人化したことによるものです。

なお、特別利益の繰入金は、0円であり、前年度に比べ皆減しています。これは、医療行政に要する経費のうち、総合医療センター及び志摩病院の退職手当特例措置に対する繰入金がなくなったためです。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

項 目		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A)/(B)
総合医療 センター	収益的収入	0	1,592,622,000	△ 1,592,622,000	皆減
	特別利益	0	18,294,000	△ 18,294,000	皆減
	資本的収入	0	517,331,000	△ 517,331,000	皆減
	計	0	2,128,247,000	△ 2,128,247,000	皆減
こころの医療 センター	収益的収入	897,276,000	934,007,000	△ 36,731,000	96.1
	資本的収入	204,444,000	199,579,000	4,865,000	102.4
	計	1,101,720,000	1,133,586,000	△ 31,866,000	97.2
一志病院	収益的収入	309,726,000	296,380,000	13,346,000	104.5
	資本的収入	67,847,000	51,723,000	16,124,000	131.2
	計	377,573,000	348,103,000	29,470,000	108.5
志摩病院	収益的収入	1,154,451,000	735,770,000	418,681,000	156.9
	特別利益	0	365,400,000	△ 365,400,000	皆減
	資本的収入	479,366,000	216,956,000	262,410,000	221.0
	計	1,633,817,000	1,318,126,000	315,691,000	123.9
県立病院課	収益的収入	166,706,000	357,063,000	△ 190,357,000	46.7
	資本的収入	0	0	0	-
	計	166,706,000	357,063,000	△ 190,357,000	46.7
合 計	収益的収入	2,528,159,000	3,915,842,000	△ 1,387,683,000	64.6
	特別利益	0	383,694,000	△ 383,694,000	皆減
	資本的収入	751,657,000	985,589,000	△ 233,932,000	76.3
	計	3,279,816,000	5,285,125,000	△ 2,005,309,000	62.1

- (注) 1 収益的収入＝建設改良及び退職手当特例措置に要する経費以外の繰入金
 2 特別利益＝退職手当特例措置に要する経費の繰入金
 3 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成24年度の延べ入院患者数は117,553人（1日平均322人）であり、前年度に比べ2,596人減少しています。延べ外来患者数は62,874人（1日平均257人）であり、前年度に比べ109人増加しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成24年度の総収益は33億1,382万円であり、入院収益の減等により、前年度に比べ1億1,622万円減少しています。

総費用は32億9,236万円であり、特別損失の減等により、前年度に比べ26億6,674万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ25億5,051万円改善し、2,145万円の黒字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

2 一志病院

(1) 患者数の状況

平成24年度の延べ入院患者数は9,936人（1日平均27人）であり、前年度に比べ2,102人減少しています。延べ外来患者数は22,152人（1日平均90人）であり、前年度に比べ191人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成24年度の総収益は7億9,765万円であり、患者数の減による入院・外来収益の減等により、前年度に比べ4,772万円減少しています。

総費用は8億8,549万円であり、特別損失の減等により、前年度に比べ5,566万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ794万円改善し、8,783万円の赤字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

3 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成24年度の延べ入院患者数は75,535人（1日平均207人）であり、前年度に比べ1,031人増加しています。延べ外来患者数は69,530人（1日平均284人）であり、前年度に比べ4,494人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成24年度の総収益は14億1,908万円であり、利用料金制に伴う入院・外来収益の皆減等により、前年度に比べ25億440万円減少しています。

総費用は15億6,913万円であり、指定管理者制度導入に伴い、給与費や材料費等が指定管理者の支出になったこと等により、前年度に比べ46億8,416万円減少しています。

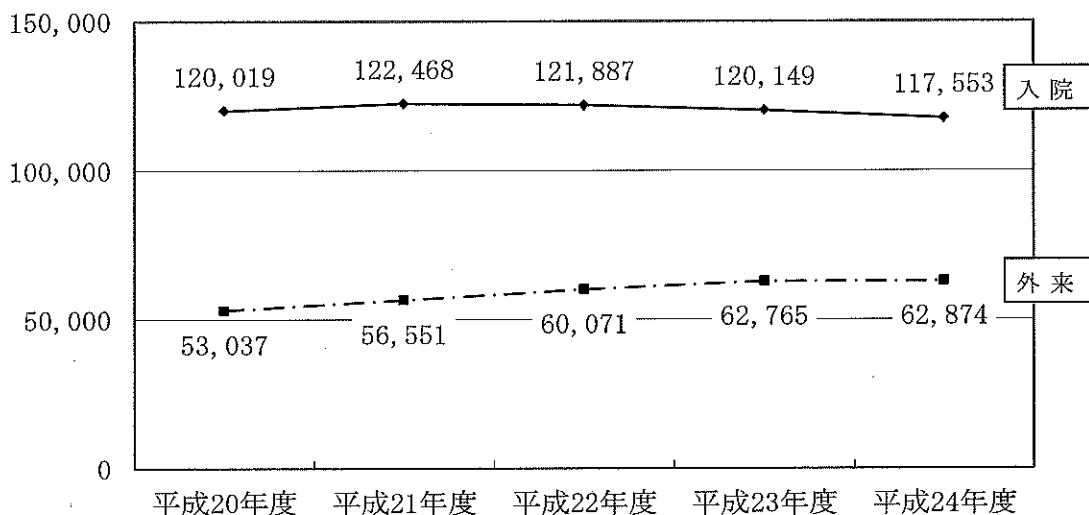
総収支は、前年度に比べ21億7,976万円赤字額が縮小し、1億5,005万円の赤字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

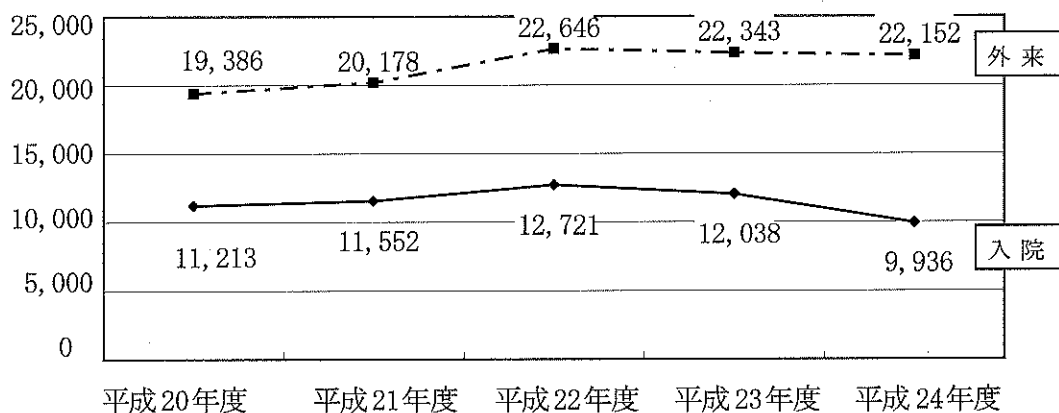
(参考)

患者数の推移 (単位：人)

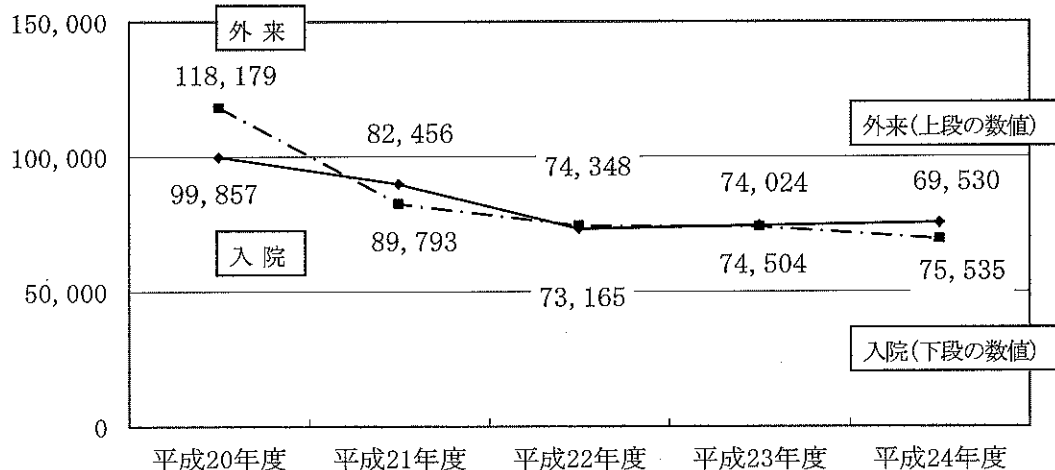
こころの医療センター



一志病院

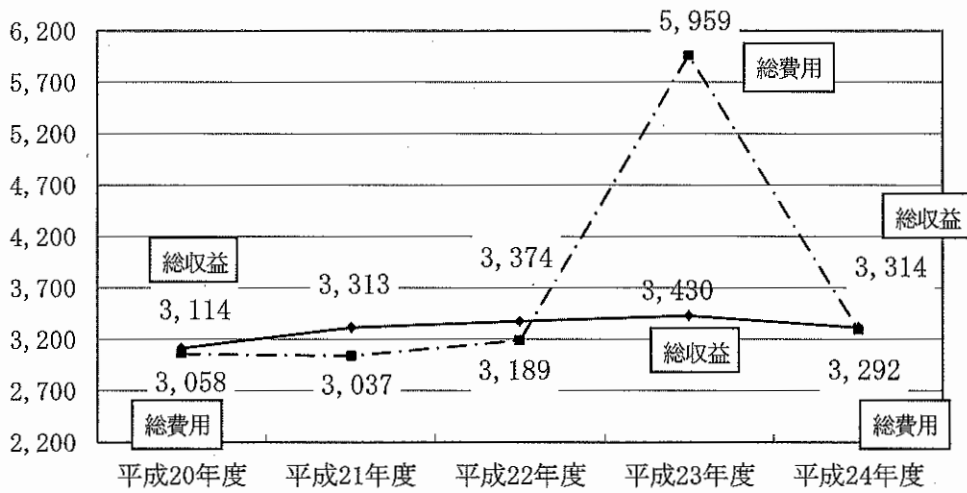


志摩病院

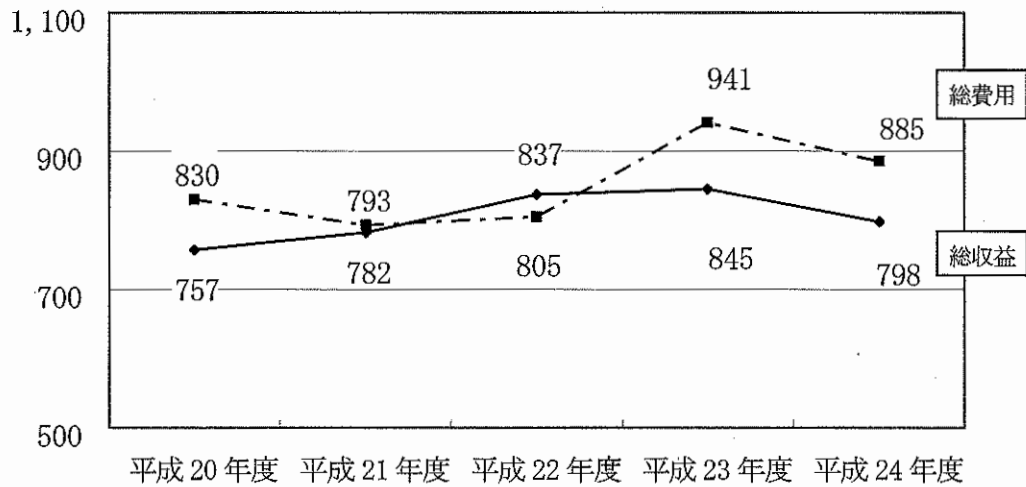


総収益と総費用の推移 (単位：百万円)

こころの医療センター



一志病院



志摩病院

